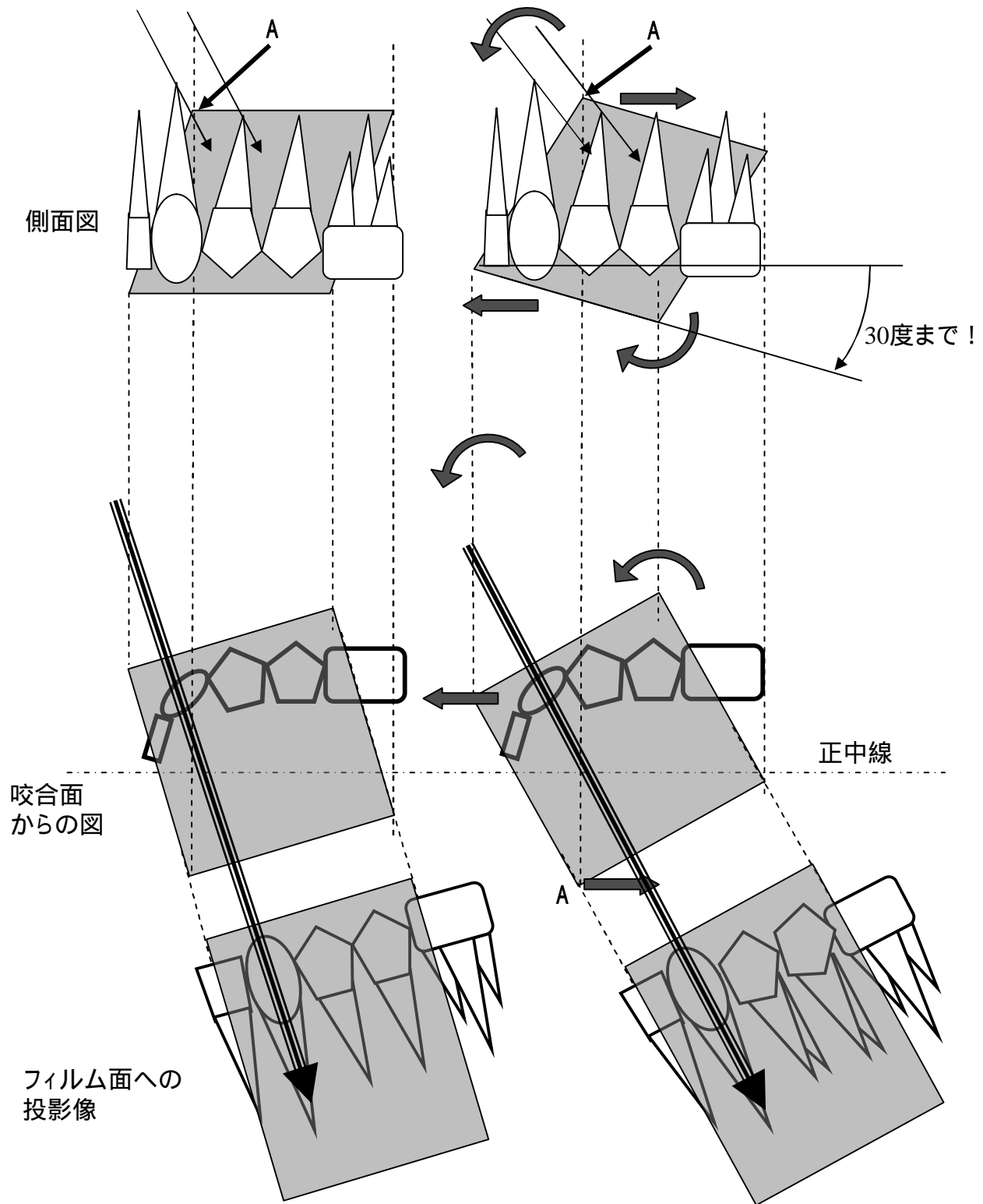


犬歯・小白歯部撮影について



フィルムのA部分が口蓋の傾斜によって、フィルムがすべる場合、フィルムは、回転し、後方が落ちてくる。この場合、回転角は30度以内に収めること。また、フィルムを前方にスライドさせ、側切歯をフィルムに完全に入れるようにする。エックス線の前後の入射角度(水平面内の角度)は、前方からの入射(偏近心投影)にすること。でないと、犬歯根尖がフィルムからはみ出す。そのとき、小白歯咬頭は、斜めに投影され、2根が分離する。